

## 平成 27 年度 第 2 回環境水理部会 議事録

日 時：平成 28 年 3 月 15 日（火）12 時 15 分～13 時 15 分

場 所：東北工業大学 八木山キャンパス 9 号館 932 教室（水工学講演会）

出席者：赤堀（愛工大，△），赤松（山口大），石塚（香川大），井芹（西日本技術開発，△），乾（山口大，△），井上（港空研），梅田（東北大），大石（土研，□），大槻（東京理科大），大橋（玉野コン），小林（京大，△），櫻井（土研），重枝（九工大），新谷（首都大），鈴木（電中研），鈴木（八千代エンジ），角（京大，△），田井（九大），田代（名大，□），中山（神戸大），宮本（芝工大，◎），矢島（鳥取大，○），矢野（九大），横山（首都大），（以上 24 名．敬称略．五十音順．◎部会長，○副部会長，□幹事，△オブザーバー）

### 1. 審議事項

#### ① H28 年度研究集会について

- ・ 宮本部会長から，平成 28 年度の研究集会を香川県高松市（5/19-20：研究集会，5/20：現地見学）で実施する計画について説明があり，石塚先生（香川大）から開催趣旨，特別講演（多田先生「(仮)瀬戸内海の水環境」）と現地見学の内容（土器川，香川用水記念館，満濃池を半日で巡る）などについて説明があった．審議の結果，これを承認して準備を進めることとなった．

#### ② HP の土木学会委員会サイトへの移行について

- ・ 別資料に基づき，HP 担当の大槻先生（東京理科大）から，他の土木学会委員会サイトと同様のシステム（Contents Management System）による管理へ移行する方針が説明され，これを承認した．

### 2. 報告事項

#### ① 水工学委員会報告（宮本部会長）

- ・ 別資料に基づき H27 年度第 2 回水工学委員会（3/14 開催）の議事内容が紹介された．特に下記について確認された．
  - 平成 29 年度第 22 回水シンポジウムは沖縄にて開催される．
  - 土木学会論文集 B 部門合同編集小委員会委員が重枝先生（九工大）から田代先生（名大）に交代．
  - 気候変動による影響への適応小委員会が設立され，矢野先生（九大）が小委員長に就任．部会内の温暖化適応 WG リーダーと併任．

#### ② WG 活動報告（樹林化 WG，宮本部会長）

#### ③ WG 活動報告（閉鎖性水域 WG，矢島副部会長）

- ・ 今年度の活動内容として，新谷先生（首都大），矢島副部会長を中心に開発した生態系モデルの検証作業中である旨，報告があった．
- ・ 応用生態工学会広島と共同で 10 月にフィールドシンポジウムを企画中である旨，紹介があった．部会の共催として実施する方向で調整していくこととなった．

#### ④ WG 活動報告（動的総合土砂管理 WG，竹林先生）

- ⑤ WG 活動報告（教科書英文化 WG，矢野先生）
- ・ 各種助成金を利用しながら英文翻訳を進めていく方向で調整中である旨，報告があった。
- ⑥ 環境水理学の教科書初年度売り上げ状況（旧教科書 WG，宮本部長）
- ・ 別資料に基づき，売り上げが好調である旨，報告があった。
- ⑦ WG 活動報告（温暖化適応 WG，矢野先生）
- ・ 第 1 回 WG を 1/29 に実施し，水環境に関連した適応を中心に検討を進めるなど，今後の活動方針を決定したほか，次年度研究集会の際に第 2 回 WG を実施する方向で調整中である旨，報告があった。
- ⑧ 水工学委員会グローバル気候変動適応研究推進 WG（中山先生）
- ・ 別資料に基づき，平成 28 年度全国大会で「気候変動による影響への適応」と題する共通セッションを企画中である旨，紹介があった。
  - ・ 地球環境委員会や海岸工学委員会とも連携しながら，4 つの部会が一丸となって研究活動を推進するため，「グローバル気候変動適応研究小委員会」と銘打った形で小委員会が設置された旨，紹介があった。
- ⑨ 河川砂防技術基準（調査編）をもとにした意見交換会（環境 WG）（宮本部長）
- ・ 本部会終了後，同会場において，応用生態工学会，国土交通省国土技術政策総合研究所，土木研究所との共同参画において第 4 回意見交換会が実施されること，ならびに，部会メンバーの聴講が可能である旨，紹介があった。

以上.